

## 板橋区家庭療養指導員設置要綱

(令和元年11月25日 区長決定)

最終改正 (令和7年2月13日 区長決定)

### (目的)

- 第1条 この要綱は、公害健康被害の補償等に関する法律（昭和48年法律第111号。以下「公健法」という。）第1条及び第46条に基づく公害保健福祉事業のため、会計年度任用職員の任用等に関する規則（令和元年板橋区規則第41号）に基づき、家庭療養指導員の設置及びその取扱いに関し必要な事項を定めることを目的とする。
- 2 家庭療養指導員の取扱いについては、法令等に別の定めがあるものを除くほか、この要綱の定めるところによる。

### (職務)

- 第2条 家庭療養指導員は、次の各号に掲げる職務を行うものとする。
- (1) 公健法第4条に基づく公害健康被害の認定を受けた者（以下「被認定者」という。）の家庭を訪問し、日常生活指導、保健指導を行うこと。
- (2) 被認定者の来訪、電話相談等に応じ、必要な指導を行うこと。
- (3) 前各号に付随する事項

### (設定数)

第3条 家庭療養指導員の設定数は、3人以内とする。

### (任用)

- 第4条 家庭療養指導員は、次の各号に該当する者のうちから、選考により区長が任用する。
- (1) 保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第7条に基づく保健師又は看護師の資格を有する者
- (2) 本事業に対し理解があり、豊富な知識及び経験を有し、心身ともに健全であり、誠実である者
- 2 任用に当たっての選考の方法は、保健所長が別に定める。
- 3 家庭療養指導員の任用は、発令通知書（別記第1号様式）による。
- 4 家庭療養指導員の任用に当たり、勤務条件通知書（別記第2号様式）を交付する。

### (任用決定者の提出書類)

- 第5条 家庭療養指導員として任用される者は、あらかじめ次の書類を提出しなければならない。
- (1) 履歴書
- (2) 住民票記載事項証明書又は住民票の写し
- (3) その他健康生きがい部（保健所）予防対策課長（以下「課長」という。）が必要と認める書類

### (任期)

- 第6条 家庭療養指導員の任用及び任期の更新に当たり、区長は、職務の遂行に必要なかつ十分な任期を定めるものとする。
- 2 区長は、家庭療養指導員の勤務実績が良好の場合には、会計年度においてその任期を更新することができる。

### (分限)

第7条 家庭療養指導員に対する分限は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）及び職員の分限に関する条例（昭和35年板橋区条例第14号）の定めるところによる。

### (懲戒処分)

第8条 家庭療養指導員に対する懲戒処分は、地方公務員法及び職員の懲戒に関する条例（昭和35年板橋区条例第15号）の定めるところによる。

### (服務)

第9条 家庭療養指導員の服務は、東京都板橋区処務規程（昭和44年板橋区訓令甲第2号）の定めるところによる。

(勤務時間等)

第10条 家庭療養指導員の勤務時間等は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 勤務日数は月16日以内とし、勤務日は課長が定める。
  - (2) 勤務時間は、1日につき7時間45分とする。
  - (3) 家庭療養指導員の正規の勤務時間は午前8時30分から午後5時15分まで(次号の休憩時間を含む。)とする。
  - (4) 家庭療養指導員の休憩時間は、午後0時から午後1時までとする。
- 2 前項に定めるもののほか、家庭療養指導員の勤務時間等に関する場合は、会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則(令和元年板橋区規則第40号。以下「会計年度任用職員勤務時間規則」という。)の定めるところによる。

(勤務場所)

第11条 家庭療養指導員の勤務場所は、課長が定める。

(休暇等)

第12条 家庭療養指導員の休暇等は、会計年度任用職員勤務時間規則の定めるところによる。

(職務に専念する義務の免除)

第13条 家庭療養指導員における職務に専念する義務の免除は、職員の職務に専念する義務の特例に関する条例(昭和35年板橋区条例第17号)、職員の職務に専念する義務の免除に関する規則(昭和53年特別区人事委員会規則第14号)等の定めるところによる。

(給与及び費用弁償)

第14条 家庭療養指導員の給与及び費用弁償は、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例(令和元年板橋区条例第21号)及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例施行規則(令和元年板橋区規則第39号)の定めるところによる。

(公務災害補償等)

第15条 家庭療養指導員に対する公務上の災害又は通勤による災害に対する補償は、地方公務員災害補償法(昭和42年法律第121号)、特別区非常勤職員の公務災害補償等に関する条例(昭和43年特別区人事・厚生事務組合条例第8号)及び労働者災害補償保険法(昭和22年法律第50号)の定めるところによる。

(社会保険等)

第16条 家庭療養指導員に対する社会保険等の適用については、地方公務員等共済組合法(昭和37年法律第152号)、健康保険法(大正11年法律第70号)、介護保険法(平成9年法律第123号)、厚生年金保険法(昭和29年法律第115号)及び雇用保険法(昭和49年法律第116号)の定めるところによる。

(研修)

第17条 家庭療養指導員に対し、職務遂行上必要な知識及び技能を習得するための研修を実施する。

(健康診断等)

第18条 家庭療養指導員の健康診断等については、板橋区職員健康管理規則(昭和59年板橋区規則第10号)の定めるところによる。

(人事評価)

第19条 家庭療養指導員の人事評価については、板橋区人事評価規程(平成8年板橋区訓令第20号)の定めるところによる。

(委任)

第20条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、課長が別に定める。

付 則  
この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

付 則  
この要綱の一部改正は、令和6年4月1日から施行する。

付 則  
この要綱の一部改正は、令和7年4月1日から施行する。

# 発令通知書

(氏名)	
(所属)	
(発令内容)	
職名	
任用期間	令和 年 月 日から
	令和 年 月 日まで
報酬	
令和 年 月 日	
発令権者 板橋区長	

# 勤務条件通知書

令和 年 月 日	
様	事業場名称・所在地 任命権者職氏名
契約期間	期間の定め有り(※) (令和 年 月 日～令和 年 月 日)
就業の場所	
従事すべき業務の内容	
勤務日数、始業、終業の時刻、休憩時間、所定時間外労働の有無に関する事項	<p>1 勤務日数</p> <p>2 始業・終業の時刻等 始業( 時 分) 終業( 時 分)</p> <p>3 休憩時間( 分)</p> <p>4 所定時間外労働の有無(有・無)</p> <p>○詳細は、板橋区家庭療養指導員設置要綱第10条のとおり</p>
休日	<p>・定例日；毎週 曜日、国民の祝日、その他( )</p> <p>・非定例日；週 月当たり 日、その他( )</p> <p>○詳細は、板橋区家庭療養指導員設置要綱第10条のとおり</p>
休暇	<p>1 年次有給休暇 繰越； 日 付与日数； 日 ※詳細は、会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則のとおり</p> <p>2 その他の休暇 会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則のとおり</p>
報酬	<p>1 基本報酬・イ 月額( 円)、ロ 日給額( 円)、 ハ 時間額( 円) ニ その他( 円) ホ 就業規則に規定されている賃金等級等</p> <p>2 諸手当の額又は計算方法 イ( 手当 円/ : 計算方法: ) ロ( 手当 円/ : 計算方法: ) ハ( 手当 円/ : 計算方法: ) ニ( 手当 円/ : 計算方法: )</p> <p>3 所定時間外、休日又は深夜労働に対して支払われる割増賃金率 イ 所定時間外 法定超( )%、所定超( )%、法定内( )% ロ 休日 法定休日( )%、法定外休日( )%、 ハ 深夜( )%</p> <p>4 報酬締切日－毎月 末日</p> <p>5 報酬支払日－毎月15日</p> <p>※その他(期末手当等)は、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例のとおり</p>
退職に関する事項	<p>1 定年制(有・<b>無</b>)</p> <p>2 自己都合退職の手続 ※東京都板橋区処務規程による</p> <p>3 解職の事由及び手続 [ ]</p>
その他	<p>・社会保険の加入状況 厚生年金：有・無 共済組合(短期組合員)：有・無</p> <p>・雇用保険の適用(有・無)</p> <p>・その他(年度途中の増額・減額改定により、上記の報酬等が変更になる場合あり)</p>

※「契約期間」について「期間の定め有り」とした場合に記入

更新の有無	<p>1 契約更新の有無 [自動的に更新する・更新する場合があります・契約の更新はしない ・その他( )]</p> <p>2 契約の更新は次により判断する。[・契約満了時の業務量 ・勤務成績、態度 ・能力 ・従事している業務の進捗状況 ・その他( )]</p>
-------	--